

# 横浜市市民文化会館関内ホール 平成 28 年度業務計画及び収支予算

(株) t v k コミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)相鉄エージェンシー・(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体

## 1.施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町 4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 2 階建
敷地・延床面積	延床面積 8967,51 m <sup>2</sup>
開館日	1986 年（昭和 61 年）9 月

## 2.指定管理者

法人名	(株) t v k コミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・(株)相鉄エージェンシー・(株)清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体 代表(株) t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市中区太田町 2-23 MBC5 階
代表者	高橋隆男
設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

## 3.指定管理に係る業務方針

### (1)基本的な方針

#### 【業務取組みの基本的な考え方】

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、関内ホールの特性や馬車道沿いという立地を活かした「市民の文化芸術活動と発表の場の提供」「質の高い鑑賞機会の提供」「次世代育成への積極的な取組み」「地域と連携した賑わい創出」など、今期の提案書に示したビジョン（中期的イメージ）を実現するため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の 7 つの方針で関内ホールの管理運営に取り組みます。

1. 専門性を発揮して、市民に身近な文化芸術活動の場を提供
2. 専門企業・団体とのネットワークを活かし、特徴ある鑑賞機会を提供
3. 子ども達が楽しめる鑑賞機会と積極的な若手アーティストの支援で次世代を育成
4. 街中の便利なホールとして、集会・講演会利用に対応
5. 魅力あるイベントと幅広い広報活動で、馬車道をはじめ地域の賑わい向上に貢献
6. 経験とノウハウに基づく、安心安全の徹底
7. 行政代行者としてのコンプライアンス（法令遵守）と公平・公正な利用の確保

## (2) 28年度の業務の方針及び達成目標

### 【全体業務について】

第3期指定管理期間の初年度である平成28年度は、これまで2期の管理期間で培ったさまざまな運営ノウハウをベースに、今期の提案書に示した「私たちが実現したい関内ホールの将来像」に向けた新たな取り組みを進めていきます。2期の管理期間を通じて成長した「サポーターズ倶楽部」のネットワークを活かした多彩な鑑賞事業の実施や、多世代を対象とした市民参加型事業に引き続き取組むとともに、子ども達や新進アーティストを対象とした次世代育成と地域連携による賑わい創出への取り組みを一層充実させていきます。

また、今年度は新規利用者開拓のための新たな割引制度である「マイ練習プラン」の導入や「市民文化アンバサダー制度」「リアル動画配信システム」など、新たな情報発信の仕組みづくりに取り組みます。

### 【事業について】

今年度は、シリーズ事業としてホールを代表する事業に成長した“馬車道 陽だまりコンサート”“市民ミュージカル”“ゴスペルワークショップ”など、多世代の市民参加を主体とする「市民創作活動支援事業」や、“ショートパフォーマンスライブ”“ひなたぼっこコンサート”“関内ホール1日オープンデー”など、子ども達や新進アーティストを対象とした「次世代育成事業」を中心に、登録110団体に及ぶ“サポーターズ倶楽部”のネットワークを活用した関内ホールらしい、エンターテイメント性豊かな「鑑賞事業」をバランスよく実施していきます。また、地域との連携事業にも引き注力し、地元“馬車道商店街”との協働による4日間に渡る“馬車道まつりアートフェスタ”の定例開催や、馬車道商店街の恒例イベントである「あいすくりーむの日」に因んだ“あいすくりーむ発祥記念コンサート&チャリティ寄席”の実施を予定しています。その他、関内ホールの面する“馬車道通り”や“入船通り”で例年実施する祭事などに積極的に参加・協力し、地域の賑わいづくりに努めていきます。

### 【運営について】

これまで通り、各種アンケートの回答と責任者会議による“業務のPDCAサイクル”を継続し、お客様の目線に立った改善に日常的に取り組むことで利用者満足度の向上に努めていきます。1期目管理期間から実施している“ステージコンシェルジュサービス”や各種割引制度についても細かな改善を加えながら継続するとともに、引き続きテレビメディアやツイッター、ホームページ、フェイスブック等のITツールを活用した情報発信に積極的に取り組むことで来場者数と利用率の更なる向上を図ります。

特に今年度は、小ホールの空きコマを低価格で提供する新たな割引制度「マイ練習プラン」の導入や、無料で利用できるリアル動画配信システムの設置などに取り組みます。

### 【施設維持管理について】

関内ホールは竣工から30年が経過し施設自体が老朽化しつつある状況ですが、今後も市民の方々に安心してご利用いただくために建物・設備の予防保全を第一に考え、できる限り長寿命化を図るとともに、経験則に基づく専門性の高い施設管理業務を実施することで常に安全で快適な環境を提供するよう努めていきます。また、平成29年度以降に実施予定の大規模改修工事について、より安全で快適な施設作りのため、長年の管理経験を活かし具体的な改修計画について提言するなど、横浜市との協議を進めていきます。

1. 文化事業

(1) 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標      ◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
<p>①専門企業・団体とのネットワークを活かし、市民に喜ばれる鑑賞事業を展開</p>	<p>□ミドルエイジ向けコンサート系事業 8事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポピュラーコンサート1 会場：大ホール／ 入場者：900名</li> <li>●ボサノヴァコンサート 会場：大ホール／ 入場者：800名</li> <li>●ポピュラーコンサート2 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●フォークコンサート 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●演歌コンサート 会場：大ホール／ 入場者：800名</li> <li>●テノールコンサート 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●グループサウンドコンサート 会場：大ホール／ 入場者：900名</li> <li>●ポピュラーコンサート3 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> </ul> <p>□若者向けコンサート系事業 4事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポピュラーコンサート1 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●ポピュラーコンサート2 会場：大ホール／ 入場者：1,100名</li> <li>●ポピュラーコンサート3 会場：大ホール／ 入場者：900名</li> <li>○ゴスペルコンサート 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●ポピュラーコンサート4 会場：大ホール／ 入場者：900名</li> </ul> <p>□ダンス公演系事業 3事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハワイアンフラ 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>●バレエ公演 会場：大ホール／ 入場者：1000名</li> <li>●邦舞公演 会場：大ホール／ 入場者：800名</li> </ul>

	<p>□演劇・ミュージカル系事業 3事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般向けミュージカル 会場：大ホール／ 入場者：2,000名</li> <li>●市民劇団公演 会場：小ホール／ 入場者：500名</li> <li>○オペラ公演 会場：大ホール／ 入場者：900名</li> </ul> <p>□落語・漫談・狂言等、伝統芸能系事業 9事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●狂言の集い 会場：大ホール／ 入場者：1,000名</li> <li>○漫談公演 会場：小ホール／ 入場者：200名</li> <li>○関内寄席1 会場：大ホール／ 入場者：各900名</li> <li>○関内寄席2 会場：大ホール／ 入場者：各700名</li> <li>○関内寄席3 会場：大ホール／ 入場者：各1,000名</li> <li>○関内寄席4 会場：大ホール／ 入場者：各1,000名</li> <li>○関内寄席5 会場：大ホール／ 入場者：各1,100名</li> <li>○関内寄席6 会場：大ホール／ 入場者：各1,000名</li> <li>○関内寄席7 会場：大ホール／ 入場者：各1,000名</li> </ul>
<p>②横浜芸術アクション事業など、公的な文化芸術事業にも積極的に協力</p>	<p>□公的文化事業への協力 3事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音祭り関連イベント 会場：大ホール／ 入場者：2,000名（2日間）</li> <li>○ダンスフェスティバル 会場：大ホール／ 入場者：1,700名</li> <li>●横濱 JAZZ プロムナード 会場：全館／ 入場者：5,000名</li> </ul>
<p>③地域のブランドカを高めるシンボリックな事業を、地域と協働で開催</p>	<p>□地域連携事業 2事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎あいすくりーむ発祥記念コンサート&amp;チャリティ寄席 コンサート会場：大ホール／ 入場者：800名 寄席会場：小ホール／ 入場者：250名</li> <li>◎馬車道アートフェスタ 2016 会場：全館／ 期間中来場者：のべ5,000名</li> </ul>

(2) 次世代育成の取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
<p>①子どもたちの成長度合いに合わせ、文化芸術と触れる多彩な機会を提供</p>	<p>□次世代育成事業 5 事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎よちよちひなたぼっこコンサート① 会場：小ホール／ 参加者：親子ペア 80 組 160 名</li> <li>◎よちよちひなたぼっこコンサート② 会場：小ホール／ 参加者：親子ペア 80 組 160 名</li> <li>◎楽器体験コンサート 会場：大ホール／ 参加者：1,600 名 (2 回)</li> <li>◎関内どろんこ寄席 会場：大ホール／ 参加者：700 名</li> <li>●子ども寄席 会場：小ホール／ 参加者：250 名</li> </ul>
<p>②新進アーティストを支援する、発表の機会の提供</p>	<p>□新進アーティスト支援事業 7 事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎馬車道ショートパフォーマンスライブシリーズ 会場：玄関前広場／ 観覧者：のべ 2,500 名 実施回数：15 回 (年間)</li> <li>◎SPL “UNDERGROUND” vol.6 会場：小ホール／ 入場者：500 名</li> <li>◎SPL “MAXIMUM” vol.12 Lucky Strike LIVE 会場：小ホール／ 入場者：500 名 (2 回)</li> <li>◎SPL “MAXIMUM” vol.13 Style-3! LIVE 会場：大ホール／ 入場者：700 名</li> <li>◎SPL “MAXIMUM” vol.13 松井祐貴 LIVE 会場：小ホール／ 入場者：250 名</li> <li>◎馬車道 煌きコンサート (U30 企画公募コンサート) 会場：小ホール／ 入場者：180 名</li> <li>●バレエコンクール in 横浜 実施回数：1 回 会場：大ホール／ 入場者：2000 名</li> </ul>
<p>③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力</p>	<p>□『学校プログラム』へコーディネーターとして協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校 2 校にコーディネーターを派遣</li> </ul>

(3) 創作活動のための機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
<p>①市民とともに創り上げる、創作ワークショップと発表機会の提供</p>	<p>□一般向けワークショップ 1事業を実施</p> <p>◎ゴスペルワークショップ&amp;修了公演 実施回数：13回（4ヶ月間） 参加者：100名</p> <p>□子供向けワークショップ 3事業を実施</p> <p>◎ピアノの仕組みワークショップ 実施回数：2回（日） 会場：リハーサル室／ 参加者：80名（2回）</p> <p>◎工作系ワークショップ 実施回数：3回（日） 会場：リハーサル室／ 参加者：60名（3回）</p> <p>◎楽器体験ワークショップ 実施回数：3回（日） 会場：リハーサル室／ 参加者：60名（3回）</p>
<p>②市民が気軽に参加できるコンサート等の開催</p>	<p>□参加型コンサート事業 8事業を実施</p> <p>◎馬車道 陽だまりコンサート vol.25 参加者：700名</p> <p>◎馬車道 陽だまりコンサート vol.26 参加者：700名</p> <p>◎馬車道 陽だまりコンサート vol.27 参加者：900名</p> <p>◎馬車道 陽だまりコンサート vol.28 参加者：700名</p> <p>◎1000人ゴスペルコンサート in 関内ホール 参加者：100名／ 入場者：1,000名</p> <p>◎横浜市民ミュージカル 参加者：70名／ 入場者：1600名（2回）</p> <p>○横浜市民こどもミュージカル 参加者：50名／ 入場者：700名（3回）</p> <p>●かながわ留学生音楽祭 参加者：100名／ 入場者：900名</p>

(4) 情報提供及び広報

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
<p>①共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動</p> <p>②さまざまな側面からの効果的な情報提供</p> <p>(1)映像と ICT を活用した独自性のある情報提供</p> <p>(2)市民と連携した「文化アンバサダー制度」による情報発信</p> <p>(3)撮影場所の提供による情報発信</p>	<p>□ t v k 昼の情報番組で月 2 回「関内ホールインフォメーション」を放映。</p> <p>□主催事業 10 本についてスポット CM を制作し、t v k で放映。</p> <p>□ t v k の番組連動公演を 1 事業実施する。</p> <p>□月間「催し物案内」を制作し、市内 280 ヶ所 (5500 部) に毎月定期的に配布する。</p> <p>■事業広報に各種新聞媒体、フリーペーパー、地域情報誌を活用する。</p> <p>□関内ホールでの公演や、発表会などについて、新規 12 本の映像を収録し、デジタルアーカイブとして「関内ホールビデオフォーラム」から配信を行う。</p> <p>■ホールの広報にホームページ、Twitter、Facebook などの IT ツールを活用。</p> <p>■「市民アンバサダー (大使)」を公募し、主催事業についての意見や感想を、ホームページや Facebook を通じて情報発信する。</p> <p>■ドラマやコマーシャル、映画撮影などの利用の際、「協力/関内ホール・横浜市」のテロップを入れることを条件に料金割引を行う『撮影利用割引』を導入する。</p>

(5) 地域の賑わいへの貢献

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
<p>①地元・馬車道地域のニーズに応える賑わい創出への取組</p> <p>②地元事業への積極的な貢献</p>	<p>■ホールホワイエに「馬車道商店街店舗用チラシラック」を設置し商店街の活性化に協力する。</p> <p>■馬車道商店街が実施するイベントのチラシ制作・配架、ウェブサイトでの情報発信に協力する。</p> <p>■来場者が見込める主催事業について、開演時間を午後帯に設定し、夕食需要や買い物需要を喚起する。</p> <p>■従来とは異なる層の来街者創出のため、若者やファミリーを対象とした事業の充実に取組む。</p> <p>□馬車道商店街などが実施する定例行事やお祭りなどに、企画・広報専門性を活かした協力を行う。</p> <p>◎5/9 あいすくりーむ発祥記念コンサート 会場：大ホール／ 来場者：800名</p> <p>◎5/9 あいすくりーむ発祥記念チャリティ寄席 会場：小ホール／ 来場者：200名</p> <p>◎馬車道アートフェスタ 2016 会場：大・小ホール／ 来場者：5000名</p> <p>◎関内ホール1日オープンデー 会場：全館／ 来場者：のべ2000名</p> <p>●Y157 セントラルタウンフェスティバル 会場：玄関前広場／ 来場者 500名</p> <p>●住吉町入船通り祭り 会場：住吉町入船通り周辺／ 来場者 1000名</p> <p>●関内まつり 会場：馬車道通り全域／ 来場者 1000名</p> <p>●ガス灯点灯式典 会場：玄関前広場／ 来場者 800名</p>

(6) 文化事業実施にあたっての留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①ソーシャルインクルージョンに配慮した取組</p>	<p>□「陽だまりコンサートシリーズ」と「ゴスペルワークショップ修了公演」で障がい者招待枠を設定し、各回ペア10組20名様のご招待を実施する。</p> <p>□SPL“MAXIMUM”シリーズ3公演で障がい者入場割引を実施する。</p> <p>■来場する障害者の方用に駐車場を提供する。</p> <p>■来場者へ車椅子の貸し出しを行う。</p> <p>□ソーシャルインクルージョンに配慮した文化事業などへ積極的に協力する。</p> <p>●かながわ留学生音楽祭 会場：大ホール／ 入場者：800名</p> <p>●横浜市療育研究大会 会場：大ホール／ 入場者：900名</p>

## 2. 施設運営

### (1) 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標								
<p>①公の施設としての、公平で公正な貸出業務の実施</p> <p>②新規利用者の増加と利用率の向上を図る、貸出サービスの創意工夫</p> <p>(1)リピーターのニーズに応え、利用率の向上を図る貸出サービス・割引優遇制度の実施</p> <p>(2)市民の文化振興を図り、新規利用者を開拓するための貸出サービス・割引優遇制度の実施</p> <p>③利用率の目標（5か年平均） 大ホール：94.8% 小ホール：93.0% リハーサル室：55.0%</p>	<p>■市民利用施設予約システムでの抽選。空き施設申込みによる公平で公正な貸出し業務の実施。</p> <p>■利用1ヶ月前を切った大・小ホールの空きコマについて、「直前申請割引（遅割り）」を実施する。</p> <p>■リハーサル室スタンプカード会員サービスを実施する。</p> <p>■大・小ホール、リハーサル室全室を終日利用する場合、リハーサル室4部屋分の料金を割引する「全館利用割引」を実施する。</p> <p>■設営やリハーサルに使用した時間帯について割引を適用する「リハーサル区割引」を実施する。</p> <p>■サポーターズ倶楽部の登録団体が共催で事業を行う場合、利用料金について10%～100%割引を適用する「サポーターズ倶楽部共催割引」を実施する。</p> <p>■営利を目的としない個人の練習向けに、利用2週間前を切った小ホールの夜間空きコマを格安で提供する「マイ練習プラン」を実施する。</p> <p>■大・小ホールに生中継動画配信設備を設置し、利用者へ無料で提供する。</p> <p>■保育園・幼稚園など未就学児童が主体となる団体の利用に対し、割引を適用する「未就学児童特別割引」を実施する。</p> <p>■利用1ヶ月前までの練習利用について割引を適用する「市民文化団体割引」を実施する。</p> <p>■直近の空き日の玄関前掲示と、ホームページ掲載。</p> <p>□5か年の利用率目標（大ホール94.8%・小ホール93%・リハーサル室55%）から今年度の利用率目標を設定する。</p> <table border="1" data-bbox="678 1787 1437 1984"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>利用率目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>91.5%</td> </tr> <tr> <td>リハーサル室（4部屋）</td> <td>52%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	利用率目標	大ホール	94%	小ホール	91.5%	リハーサル室（4部屋）	52%
施設	利用率目標								
大ホール	94%								
小ホール	91.5%								
リハーサル室（4部屋）	52%								

<p>④専門性を活かした、公演等への積極的な助言・サポートの実施</p> <p>(1)ステージコンシェルジュによる、利便性の高いワンストップサービスの提供</p> <p>(2)舞台技術者による専門的なアドバイスとサポートの実施</p> <p>(3)利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p> <p>(4)専門技術を活かした、音声や映像の記録と録画配信</p>	<p>■ステージコンシェルジュを引き続き実施する。</p> <p>*生花・弁当・吊看板・写真撮影・ビデオ記録・調律・各種舞台機器レンタルの一括取次ぎ。</p> <p>■舞台の専門知識を持ったスタッフによるサービス対応</p> <p>*施設の利用の有無を問わず、公演実施に関する専門的アドバイスの実施。</p> <p>*使用時間外や休館日を利用した専門知識を持つスタッフによる施設見学の実施。</p> <p>*利用初心者向けにタブレットを利用した利用ガイドの導入や、ホール資料・各種申請書等の（インターネット）ダウンロードの実施。</p> <p>*荷物の事前搬入受付や、イベント終了後の発送取次ぎを実施。</p> <p>■利用者のニーズに合わせた広報サポートの実施</p> <p>*「月間催し物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービス実施のほか、テレビコマーシャルの制作と放映について特別価格を設定する。</p> <p>■関内ホールでの公演について、チケット委託販売を実施。</p> <p>■権利処理可能な公演について収録を行い、関内ホールビデオフォーラムから動画配信を実施。</p>
--	---

(2) 集会や講演利用への施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①施設の特徴を活かし、比較的大規模な集会や講演会のために施設を提供する。</p> <p>②利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート</p>	<p>■専門知識を持つスタッフによる公演実施に関するきめ細かなアドバイスをはじめ、公演に必要な物品の手配をワンストップで取り次ぐ「ステージコンシェルジュサービス」を実施し、集会・講演会利用をサポートする。</p> <p>■行政が主催する講演会や集会、社会性・公共性の高い集会などに引き続き優先枠を提供する。</p> <p>＜実施予定の講演会・集会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅抽選会（夏季・冬季）</li> <li>・学校保健大会</li> <li>・ヨコハマ 3R 夢表彰式</li> <li>・年末調整説明会</li> <li>・療育研究大会</li> <li>・スポーツ推進員大会</li> <li>・食育シンポジウム</li> <li>・献体された方々の感謝の集い</li> <li>・横浜市社会福祉大会 ほか、</li> </ul> <p>■利用者のニーズに合わせた広報サポートの実施</p> <p>* 「月間催し物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスの実施のほか、テレビコマーシャルの制作と放映について特別価格を設定する。</p>

(3) 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①利用者満足度の向上につながる、さまざまなニーズ把握</p> <p>(1)利用者の率直な意見を聞くアンケートの実施</p> <p>(2)関係団体へのヒアリング、意見交換会の実施</p> <p>②PDCA 発想に基づくニーズ・要望への対応</p> <p>③苦情発生に対する取組</p> <p>④公演鑑賞に潤いをもたらすカフェコーナー(臨時)の設置</p> <p>⑤市民向けの映像・動画作成教室の開催</p>	<p>■来場者アンケート、事業アンケート、利用者アンケート、Web アンケートを継続的に実施することで利用者のニーズとクレームを把握し日常的に運営の改善に努める。</p> <p>□馬車道商店街とのヒアリングを3ヶ月に1度実施する。</p> <p>■文化アンバサダーとの意見交換を随時行う。</p> <p>■事業主催者（利用者）へのヒアリングを随時行う。</p> <p>□各種アンケート回答をもとに毎月1回、各セクションの責任者による「責任者会議」と事務所職員による「運営調整会議」を実施し、業務の改善に努める。</p> <p>■改善を実施した内容をロビー内の掲示ボードで公開する。</p> <p>■過去の苦情およびその対応を参考に「苦情対応マニュアル」を作成し全職員が共有する。</p> <p>■苦情対応フローに沿って、苦情に対する処理を行う。</p> <p>■日常の「ヒヤリ・ハット」事例を日報に記載するとともに「運営調整会議」を通じ全職員が共有する。</p> <p>■改善策や再発防止策を「苦情対応マニュアル」に反映し、対応内容について「苦情・要望処理報告書」を市に提出する。</p> <p>■馬車道商店街の店舗と協力し、コンサートなどの公演イベント時にカフェコーナー（臨時）を設置する。</p> <p>□自分で映像・動画を制作したい市民向けの映像講座を実施する。</p> <p>◎ディレクターズ講座 会場：メディアビジネスセンタービル 参加者：40名</p>

(4) 運営組織の構築及び組織的な運営

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標																																																
<p>①専門性が高く、かつ効率的な組織体制</p> <p>②円滑な管理運営のための各種会議の実施</p> <p>③必要人材の配置と職能 (1)各企業のノウハウを活かした効果的な人材配置</p> <p>④主要人材の能力担保 (1)効果的な OJT の実施 (2)サービスレベルの統一とホスピタリティあふれる運営につながる研修体制 (3)利用者の大舞台を支える高品質な接客マナー</p>	<p>■事務所に舞台及び舞台技術の相談員として舞台技術者を常時 1 名配置する。</p> <p>■定例会議の実施や情報の共有 (PC サーバー) により各職員が担当職のみならず相互に業務を補完することで効率的な運営を実施する。</p> <p>■人員配置</p> <table border="1" data-bbox="679 546 1449 893"> <thead> <tr> <th>職名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>副館長／管理部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業部長</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>経理担当</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業担当</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受付担当</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>□各種会議</p> <table border="1" data-bbox="679 987 1449 1384"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>実施頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝礼</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>責任者会議</td> <td>月 1 回</td> </tr> <tr> <td>運営調整会議</td> <td>月 1 回</td> </tr> <tr> <td>運営委員会</td> <td>年 4 回</td> </tr> <tr> <td>関係機関連絡会</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>利用調整会議</td> <td>月 1 回</td> </tr> <tr> <td>施設管理連絡会</td> <td>年 1 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。</p> <p>■職員各々に応じた OJT について年間を通じて実施する。</p> <p>□各担当向け基本研修の実施</p> <table border="1" data-bbox="679 1720 1449 2107"> <thead> <tr> <th>研修テーマ</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接客マナー研修</td> <td>年 2 回</td> </tr> <tr> <td>人権研修</td> <td>年 1 回</td> </tr> <tr> <td>インスタントシニア研修</td> <td>年 1 回</td> </tr> <tr> <td>コンプライアンス研修</td> <td>年 1 回</td> </tr> <tr> <td>個人情報保護法研修</td> <td>年 1 回</td> </tr> <tr> <td>危機管理研修</td> <td>年 1 回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練</td> <td>年 2 回</td> </tr> </tbody> </table>	職名	人数	館長	1	副館長／管理部長	1	事業部長	1	管理担当	1	経理担当	1	事業担当	3	受付担当	5	会議名	実施頻度	朝礼	毎日	責任者会議	月 1 回	運営調整会議	月 1 回	運営委員会	年 4 回	関係機関連絡会	随時	利用調整会議	月 1 回	施設管理連絡会	年 1 回	研修テーマ	開催回数	接客マナー研修	年 2 回	人権研修	年 1 回	インスタントシニア研修	年 1 回	コンプライアンス研修	年 1 回	個人情報保護法研修	年 1 回	危機管理研修	年 1 回	防災訓練	年 2 回
職名	人数																																																
館長	1																																																
副館長／管理部長	1																																																
事業部長	1																																																
管理担当	1																																																
経理担当	1																																																
事業担当	3																																																
受付担当	5																																																
会議名	実施頻度																																																
朝礼	毎日																																																
責任者会議	月 1 回																																																
運営調整会議	月 1 回																																																
運営委員会	年 4 回																																																
関係機関連絡会	随時																																																
利用調整会議	月 1 回																																																
施設管理連絡会	年 1 回																																																
研修テーマ	開催回数																																																
接客マナー研修	年 2 回																																																
人権研修	年 1 回																																																
インスタントシニア研修	年 1 回																																																
コンプライアンス研修	年 1 回																																																
個人情報保護法研修	年 1 回																																																
危機管理研修	年 1 回																																																
防災訓練	年 2 回																																																

(5) 本市の重要施策を踏まえた取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①個人情報保護についての取組	<p>■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。</p> <p>□職員向けに個人情報保護に関する研修を年1回実施する。</p> <p>■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備。</p>
②情報公開についての取組	<p>■「横浜市の有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「関内ホール情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等対して適切に対応する。</p>
③人権尊重についての取組	<p>□人権研修を年1回実施し、職員一人ひとりが人権尊重を実践するよう取組む。</p>
④環境への配慮に関する取組	<p>■施設的环境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。</p> <p>■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、職員によるゴミ分別励行を行いゴミの資源化を促進する。</p> <p>■横浜市が推進する「みどりアップ計画」に則り、周辺地域の緑化に協力する。</p>
⑤市内中小企業優先発注についての取組	<p>■「横浜市中企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等にあって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。</p>

(6) その他施設運営に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①休館日の届け出について  ②許認可及び届出について  ③目的外使用料の申請について  ④財務状況の確認	■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。  ■ホール内の飲食物販売など、許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う。  ■自動販売機、携帯中継アンテナ等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。  ■財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務諸表などの財務状況について確認できる書類を提出する。

### 3. 施設管理

#### (1) 施設、設備の維持保全及び管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標									
<p>①PDCA サイクルに基づく、計画的で高品質な施設管理業務の実施</p> <p>②仕様基準を上回る、高品質な施設管理のための創意工夫</p> <p>③備品等の適切な管理</p>	<p>■施設や設備の特性や、公演実施時の注意事項などを熟知し、「施設管理業務のPDCA」に沿った的確な管理運営を実施。</p> <p>■繫閑差に応じ、経験値に基づいた的確な空調コントロールを行う。</p> <p>■老朽化した排水設備に対し、迅速かつ的確に状態を把握することが可能なファイバースコープ診断を実施。</p> <p>□ホールの利用状況に応じた臨機応変な清掃対応の実施。</p> <table border="1" data-bbox="679 689 1445 936"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>市の業務基準</th> <th>公演実施時の清掃対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トイレ清掃</td> <td>1回以上/日</td> <td>公演前後、公演中・幕間 合計4回</td> </tr> <tr> <td>カーペット (床面洗浄)</td> <td>5回以上/年</td> <td>公演後の点検により、随時 シミ取りを実施。</td> </tr> </tbody> </table> <p>■備品管理簿をデータ化し、備品管理を効率的に行えるよう取り組む。</p> <p>■館内設置のグランドピアノ4台について適切な保管環境の維持に加え、定期メンテナンスを実施することで良好な状態を保つ。</p>	項目	市の業務基準	公演実施時の清掃対応	トイレ清掃	1回以上/日	公演前後、公演中・幕間 合計4回	カーペット (床面洗浄)	5回以上/年	公演後の点検により、随時 シミ取りを実施。
項目	市の業務基準	公演実施時の清掃対応								
トイレ清掃	1回以上/日	公演前後、公演中・幕間 合計4回								
カーペット (床面洗浄)	5回以上/年	公演後の点検により、随時 シミ取りを実施。								

(2) 小破修繕への取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①予防保全と施設の長寿命化を図るための中期修繕計画の策定</p> <p>②保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応</p> <p>③修繕費・小破修繕費の計上</p>	<p>■特定天井脱落対策工事、長寿命化工事の内容を踏まえ、必要な修繕項目時期を精査し「中期修繕計画」として整理体系化を図り、計画的に修繕に取り組む。</p> <p>■長年の管理経験を活かし、故障が発生しやすい箇所への定期点検を実施するなど、故障の未然防止に努める。</p> <p>□常時2名の設備員を配置することで、突発的な修繕へ迅速に対応する。</p> <p>■中期修繕計画で想定される計画修繕費に、過去5年間の修繕実績からみた「突発的修繕費」を加え、さらに備品などで修繕できない物品についての新規購入費用を加えた「全体修繕費」を計上することで、今後の更なる経年劣化に対し適切に対応する。</p> <p>□小破修繕費600万円の計上。</p>

(3) 事故防止体制・ 緊急時(防犯)の対応・ 感染症対策等衛生管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①事故防止および犯罪防止のための方針と対策</p> <p>(1)巡回警備の徹底</p> <p>(2)不審者対策を兼ねた巡回時の工夫</p> <p>(3)異常を未然に防止する、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検</p> <p>(4)主催者に対する公演開催時の警備・誘導のきめ細かいサポート</p> <p>(5)犯罪を未然に防止する、パニックコールに応じた迅速な対応</p> <p>②緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応の方針と対策</p> <p>(1)緊急対応マニュアルの作成と平常時の訓練</p> <p>③新型インフルエンザ等の感染症対策</p>	<p>□警備員による館内巡回警備の徹底。 1日4回。(開館日のみ)</p> <p>■不審者対策のため、来館者に対しての声掛けや、公演開催前後に入口付近の立哨を実施。</p> <p>■異常の早期発見と未然防止のため、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検の実施。</p> <p>■主催者向け、警備・誘導マニュアルの配布と警備用備品の貸出を実施。</p> <p>■付属6店舗からのパニックコールに常駐警備員が迅速に対応できる体制をとる。</p> <p>■事故や犯罪に対する緊急対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施。</p> <p>■舞台業務に関する作業方法や、公演中の停電及び舞台機構関連のトラブルへの対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図る。</p> <p>■感染症防止のため、ホール出入口に手指消毒剤を設置する。</p> <p>■吐しゃ物に対する正しい処理方法を職員間で周知徹底するとともに処理剤やマスク、手袋などを常備する。</p> <p>■市内で感染症が発生した場合は、休館について横浜市と協議し、休館の場合はその旨の広報に努めるとともに、問い合わせに対応する体制に切り替える。</p>

(4) 防災に対する取組み

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>① 緊急時の連絡体制・役割分担</p> <p>② 平常時の防災対策</p> <p>③ 災害発生時の取組</p> <p>④ 障がい者の安全管理対策</p>	<p>■全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底するとともに、非常時に備え、緊急連絡先カードを携行する。</p> <p>■大規模災害時には帰宅困難者一時滞在施設として適切な機能が果たせるよう、共同事業体各社が応援要員を派遣するなどのバックアップを行う。</p> <p>□自衛消防隊を設置し、年1回消化訓練を実施する。</p> <p>□年2回防災訓練を実施する。</p> <p>■主催者へ避難経路図を配布するとともに、ロビー内には災害発生時の諸注意と広域避難場所への経路図を掲示する。</p> <p>■地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし非難措置や必要な緊急対処を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。</p> <p>■災害発生時に障がい者を避難させる場合は、誘導担当職員が付き添うとともに、最終的に避難の完了を現場責任者が確認する。</p>

(5) その他施設管理に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①来場者に対し、近隣の駐車場を把握して案内するなど、円滑な運営に努める	■付近の駐車場マップを作成し、来場者にご案内する。
②併設する青少年センターに係る業務	■日常清掃、定期清掃、巡回警備、保守管理を実施する。 □毎月1回、催事スケジュールについての情報交換を行う。
③併設する6店舗に関する業務	□情報共有と運営改善のための6店舗連絡会を年2回定期的 に開催する。 ■定期的にエアコンの消防設備の点検、店舗前の巡回警備、 防犯対応、清掃を実施する。 ■横浜市と公有財産賃貸契約を締結する。各店舗と賃貸借契 約を締結する。 ■入居店舗が撤退した場合は市と協議の上、新入居者を選考 する。
④施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□電気主任技術者（3種）を1名選任する。 □建築物環境衛生管理技術者を1名選任する。 □特定産業廃棄物管理責任者を1名選任する。 □甲種防火管理者を1名選任する。
⑤「ESCO」事業に係る業務	■「ESCO」事業実施に協力する。関内ホール独自でもエネ ルギー削減出来るか検討する。 □年2回実施する報告会議に出席する。

4. 収支

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①割引優遇制度など独自の利用料金制度の実施	<p>■直前利用割引やリハーサル室スタンプサービスなどの各種利用料割引を継続し、利用者数の向上に努める。</p> <p>※各種割引制度の詳細は P12 に記載</p>
②自主事業の充実による事業収入の増加	<p>□今年度は 23 事業を実施し、2600 万円の事業収入を目標とする。</p>
③質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の活用	<p>■主催事業について公的助成金や企業協賛を得られるよう積極的に取り組む。</p>

(3) 経費削減等効率的運営の努力

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①職員のマルチジョブ化によるサービス向上とコスト削減の実現	■定例会議の実施や情報の共有（PC サーバー）により各職員が担当職のみならず相互に業務を補完することで効率的な運営を実施する。
②運営ノウハウ等経営資源の活用による経費削減策	■2期の運営経験から得たノウハウを活用することで、さまざまな経費を削減し、サービスの向上とコスト削減に努める。
③ヨコハマ 3R 夢プランに基づく日常的な 3R 活動と省エネルギーの推進	■施設内で 3R（リユース・リデュース・リサイクル）を推進し、廃棄物の減量および適正処理を行うとともに、必要の無いライトを消灯するなど、全職員が省エネルギー化に努める。
④業務の標準化・見える化による生産性の向上	■業務手順についてワークフローやマニュアルを作成するなど、業務の標準化を進め生産性の向上に努める。
⑤グループウェアを活用した情報共有による業務効率化	■情報共有手段としてグループウェア・共有サーバーを活用し、作業の効率化を図る。
⑥予防保全によるムリのない中長期的な維持管理経費の削減	■チェックリストを用いた巡回点検に重点を置き、些細な不具合の早期発見および小破修繕により、中長期的な経費削減を図る。

5. P D C Aサイクルの確実な運用

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①日報及び月間業務報告書の作成・管理</p> <p>②事業計画書及び事業報告書の作成・管理</p> <p>③業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各種日報を作成する。</li> <li>■月報を作成しモニタリング時に提出する。</li> <li>■各日報、月報を適切に管理保管する。</li>   <li>■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成し横浜市に提出する。</li> <li>■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成し横浜市に提出する。</li>   <li>■定期的にモニタリング会議を実施し、横浜市へ運営状況の報告を行う。</li> <li>■自己評価の実施</li> </ul>

6. 留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
<p>①保険及び損害賠償の取扱</p> <p>②関係法令等の順守</p> <p>③市及び関係機関との連絡調整</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。</p> <p>■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守する。</p> <p>□横浜市とのモニタリング会議を定期的を開催する。</p> <p>□付属6店舗との連絡会を年2回開催する。</p> <p>■馬車道商店街、住吉町内会の連絡会等に参加する。</p>

【別紙】◆実施事業一覧

1. 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

<鑑賞事業・ミドルエイジ向けコンサート系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込	事業費
1	4月	協力	ポピュラーコンサート①	大ホール	900名	—
2	5月	協力	ボサノヴァコンサート	大ホール	800名	—
3	5月	協力	ポピュラーコンサート②	大ホール	1,000名	—
4	8月	協力	フォークコンサート	大ホール	1,000名	—
5	8月	協力	演歌コンサート	大ホール	800名	—
6	9月	協力	テノールコンサート	大ホール	1,000名	—
7	10月	協力	グループサウンドコンサート	大ホール	900名	—
8	10月	協力	ポピュラーコンサート③	大ホール	1,000名	—

<鑑賞事業・若者向けコンサート系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込	事業費
1	4月	共催	ポピュラーコンサート①	大ホール	1,000名	—
2	4月	協力	ポピュラーコンサート②	大ホール	1,100名	—
3	5月	協力	ポピュラーコンサート③	大ホール	900名	—
4	6月	協力	ゴスペルコンサート	大ホール	1,000名	—
5	6月	協力	ポピュラーコンサート④	大ホール	900名	—

<鑑賞事業・ダンス系事業>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込	事業費
1	8月	協力	ハワイアンフラ公演	大ホール	1,000名	—
2	8月	協力	バレエ公演	大ホール	1,000名	—
3	9月	協力	邦舞公演	大ホール	800名	—

<鑑賞事業・演劇/ミュージカル系>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込	事業費
1	7月	協力	ミュージカル公演	大ホール	2,000名	—
2	11月	協力	演劇公演	小ホール	500名	—
3	1月	協力	オペラ公演	大ホール	900名	—

<鑑賞事業・落語/漫談/伝統芸能系>

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込	事業費
1	4月	協力	狂言公演	大ホール	1,000名	—
2	5月	共催	漫談公演	小ホール	250名	—
3	6月	協力	コント公演	小ホール	250名	—
4	7月	主催	関内寄席①	大ホール	900名	2,000千円
5	8月	主催	関内寄席②	大ホール	700名	2,200千円
6	10月	主催	関内寄席③	大ホール	1,000名	2,300千円
7	11月	主催	関内寄席④	大ホール	1,000名	2,000千円
8	12月	主催	関内寄席⑤	大ホール	1,100名	2,600千円
9	1月	主催	関内寄席⑥	大ホール	1,000名	2,000千円
10	3月	主催	関内寄席⑦	大ホール	1,000名	2,000千円

< 公的文化芸術事業への協力 >

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
1	9月	共催	横浜音祭り 関連イベント	大ホール	横浜芸術アクション事業 「横浜音祭り」の市民参 加イベント。	2,000名	—
2	8月	共催	中区ダンス フェスティバル	大ホール	一般公募によるダンスフ ェスティバル。	1,700名	—
3	10月	協力	横濱 JAZZ プロムナード 2016	全館	市内中心部の複数会場で 実施するジャズの祭典。	4,000名	—

< 地域連携事業 >

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
1	5月	主催	あいすくりーむ 発祥記念コンサート & チャリティ寄席	大ホール	あいすくりーむ発祥の地 である馬車道で毎年開催 する記念イベント。	900名 260名	500千円
2	8月	共催	馬車道まつり アートフェスタ 2016	全館	「馬車道まつり」とタイ アップしたホールイベン ト。複数日程で開催。	5,000名	4,000千円

< 次世代育成事業 >

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
1	6月	主催	よちよちひなたぼっこ コンサート①	小ホール	赤ちゃんとお母さんを対 象としたアンサンブルコ ンサート。	160名	200千円
2	8月	主催	関内どろんこ寄席	大ホール	落語の歴史や楽しみ方を 学ぶ学生向け落語会。	800名	700千円
3	10月	主催	よちよちひなたぼっこ コンサート②	小ホール	赤ちゃんとお母さんを対 象としたアンサンブルコ ンサート。	160名	200千円
4	11月	主催	楽器体験コンサート	大ホール	スティールパンを見て、 聞いて、触って楽しめる コンサート。	1600名	500千円
5	2月	協力	こども寄席	小ホール	落語を子供でもわかりや すく動画を交えて上演す る子供向け落語会。	250名	—

<新進アーティスト支援事業>

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
1	5月	主催	ショートパフォーマンス スライヴ MAXIMUM12 Lucky Strike LIVE	小ホール	ショートパフォーマンス スライヴ出演者の中から選 りすぐりの1組を選出し て行うワンマンライブ。	500名	600千円
2	5月	協力	バレエコンクール In 横浜	大ホール	若きバレエダンサーの登 竜門となるバレエコンク ール。	2,000名	—
3	7月	主催	ショートパフォーマンス スライヴ “UNDERGROUND” 6	小ホール	ショートパフォーマンス スライヴ出演者の中から 8 組を選抜して実施するオ ムニバスライブ。	500名	700千円
4	9月	主催	馬車道 煌きコンサート (U30 公募コンサート)	小ホール	30歳以下の若手クラシッ ク演奏家を対象とした、 企画公募コンサート。	180名	350千円
5	11月	主催	ショートパフォーマンス スライヴ MAXIMUM13 Style-3! LIVE	大ホール	ショートパフォーマンス スライヴ出演者の中から選 りすぐりの1組を選出し て行うワンマンライブ。	700名	1,600千円
6	12月	主催	ショートパフォーマンス スライヴ MAXIMUM14 松井祐貴 LIVE	小ホール	ショートパフォーマンス スライヴ出演者の中から選 りすぐりの1組を選出し て行うワンマンライブ。	250名	500千円
7	通年	主催	馬車道ショートパフ ォーマンスライブ	玄関前広場	公募によるストリートラ イヴを玄関前で実施。 今年度は15回開催予定。	2,500名	100円

<創作活動支援事業>

No.	実施 時期	実施 形態	タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
1	5月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol.25	大ホール	クラシック演奏と合唱が 一度に楽しめる、客席参 加型合唱コンサート。	700名	700千円
2	5月～ 8月	主催	SOULMATICS のゴスペ ルワークショップ 6	小ホール	人気ゴスペルグループが 講師を務めるワークショ ップ。全3ヶ月。	参加者 100名	1,500千円

3	8月	共催	横浜市民 こどもミュージカル	小ホール	一般公募による、こども ミュージカル公演。	参加者 50名 入場者 700名	—
4	8月	主催	1000人ゴスペル in 関内ホール	大ホール	ワークショップ参加者と 来場者が一体となったゴ スペルコンサート	1,000名	800千円
5	8月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol.26	大ホール	クラシック演奏と合唱が 一度に楽しめる、客席参 加型合唱コンサート。	700名	700千円
6	11月	主催	ピアノの仕組み教室	リハー サル室	プロの調律師によるピア ノの仕組み教室。調律体 験も合わせて実施。	参加者 80名	300千円
7	11月	主催	工作系ワークショップ	リハー サル室	レインスティックなどの 手づくり工作ワークショ ップ。	参加者 60名	150千円
8	11月	主催	楽器体験 ワークショップ	リハー サル室	お箏などの楽器体験ワー クショップ。	参加者 60名	150千円
9	11月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol.27 スペシャル	大ホール	クラシック演奏と合唱が 一度に楽しめる、客席参 加型合唱コンサート。	700名	1,000千円
10	12月	協力	かながわ留学生音楽祭	大ホール	海外からの留学生による 文化発表会。	800名	—
11	1月	主催	横浜市民 ミュージカル	大ホール	一般公募による市民ミュ ージカルを大ホールで開 催。	参加者 70名 入場者 1,600名	6,500千円
12	2月	主催	馬車道 陽だまり コンサート vol.28	大ホール	クラシック演奏と合唱が 一度に楽しめる、客席参 加型合唱コンサート。	700名	700千円

【案】 関内ホール 予定表 平成28年度(2016年度)

①H26.9.26作成 ②H27.3.16確認

月	日	曜	営業状態	舞台関係点検		設備保全関係		清掃関係		開館不可能な理由	開館状況	備考
				大ホール	小ホール	外部委託点検	監視室点検	特殊清掃	定期清掃			
4	11	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	25	月	全館休館	ピアノ(未)			大ホール		事務所	事務所清掃		
5	10	火	全館休館			エレベータ	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
	23	月	全館休館		音響	シャッター ホイ・時計			大ホール	シャッター点検		法定
6	6	月	全館休館	舞台照明	舞台照明	エレベータ 自動ドア	冷却塔	貯水槽清掃	小ホール	エレベータ点検 貯水槽清掃		法定
	7	火	一部閉鎖	舞台照明			大ホール				小ホール・リハ	
	20	月	一部閉鎖		ピアノ(確)							大ホール・リハ
7	11	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
	25	月	全館休館	ピアノ(未)		中央監視			事務所	中央監視制御点検		法定
	26	火	一部閉鎖	ピアノ(未)							小ホール・リハ	
8	8	月	全館休館	館内消毒						館内消毒		法定
	9	火	全館休館	映写機(未)		エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	22	月	全館休館	音響		消防設備	大ホール	汚水槽清掃	大ホール	消防設備点検		法定
	23	火	一部閉鎖	音響							小ホール・リハ	
9	12	月	全館休館	電気設備年次点検						電気設備点検		法定
	13	火	全館休館	舞台照明		消防設備 エレベータ 自動ドア 非常用発電機	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検 消防設備点検		法定
	14	水	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
10	11	火	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔		事務所	エレベータ点検		法定
	24	月	一部閉鎖		舞台照明						大ホール・リハ	
	25	火	一部閉鎖		舞台照明						大ホール・リハ	
11	7	月	全館休館		音響	エレベータ	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
12	12	月	全館休館	舞台照明	舞台照明	エレベータ 自動ドア				エレベータ点検		法定
	13	火	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
	29	木	年末年始	年末年始						年末		
	30	金	年末年始									
	31	土	年末年始									
1	1	日	年末年始	年末年始						年始		
	2	月	年末年始									
	3	火	年末年始									
	10	火	全館休館								舞台機構	舞台機構
2	23	月	一部閉鎖	映写機						映写機点検 舞台機構点検	小ホール・リハ	
	6	月	全館休館	館内消毒						館内消毒		法定
	7	火	全館休館			エレベータ		照明器具		エレベータ点検		法定
	20	月	全館休館	音響		消防設備		汚水槽清掃	照明器具	汚水槽清掃 消防設備点検		法定
	21	火	一部閉鎖	音響							小ホール・リハ	
3	13	月	全館休館	舞台照明		エレベータ 自動ドア 非常用発電機	大ホール	照明器具	大ホール	エレベータ点検 照明器具清掃		法定
	14	火	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
	27	月	全館休館		舞台照明	消防設備		ガラス清掃		消防設備点検		法定
	28	火	一部閉鎖		舞台照明						大ホール・リハ	
			全館休館	21日				一部閉鎖	11日			
			年末年始	6日		開館日	338					

## 平成28年度 「横浜市民文化会館内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	132,742,000		132,742,000		132,742,000	横浜市より
利用料金収入	74,500,000		74,500,000		74,500,000	
自主事業収入	27,858,000		27,858,000		27,858,000	
雑入	22,126,000	0	22,126,000	0	22,126,000	
自動販売機手数料	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
育成センター施設負担金	12,900,000		12,900,000		12,900,000	
附属店舗共益費・電気料	2,400,000		2,400,000		2,400,000	
その他(チケット販売手数料等)	4,326,000		4,326,000		4,326,000	チケット販売手数料、物販手数料、ホームページ及び催物案内広告掲載料等
<b>収入合計</b>	<b>257,226,000</b>	<b>0</b>	<b>257,226,000</b>	<b>0</b>	<b>257,226,000</b>	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,500,000	0	45,500,000	0	45,500,000	
給与・賃金	43,300,000		43,300,000		43,300,000	
社会保険料			0		0	共同事業者各社にて出向者分を負担
通勤手当	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
健康診断費			0		0	共同事業者各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業者各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業者各社にて出向者分を負担
事務費	7,223,290	0	7,223,290	0	7,223,290	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	910,000		910,000		910,000	
会議賄い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費(広報費含む)	2,070,000		2,070,000		2,070,000	コピー用紙、コピー機プリント代、プリンター・紙折り機保守契約費、広報費(催物案内制作費、事業の映像アーカイブ費等)156万
通信費	910,000		910,000		910,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	223,200	0	223,200	0	223,200	
横浜市への支払分	223,200		223,200		223,200	目的外使用料(飲料自販機6台分)
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	税抜 ¥ 15,000以上の備品購入費
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	231,180		231,180		231,180	グループ傷害保険(パート・アルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	115,000		115,000		115,000	
リース料	1,340,000		1,340,000		1,340,000	リソグラフ(簡易印刷機)、紙折り機、パソコン、観葉植物のリー
手数料	270,000		270,000		270,000	チケット代引き手数料他
地域協力費	803,910		803,910		803,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	25,378,000	0	25,378,000	0	25,378,000	
自主事業費	25,378,000		25,378,000		25,378,000	
管理費	173,689,000	0	173,689,000	0	173,689,000	
光熱水費	38,540,000	0	38,540,000		38,540,000	
電気料金	29,642,000		29,642,000		29,642,000	
ガス料金	4,275,000		4,275,000		4,275,000	
水道料金	4,623,000		4,623,000		4,623,000	
清掃費	26,156,247		26,156,247		26,156,247	
修繕費	6,000,000		6,000,000		6,000,000	設備関係修繕費及び消耗品費、舞台関係修繕費及び消耗品費
舞台管理技術委託費	42,932,566		42,932,566		42,932,566	
機械警備費	1,159,920		1,159,920		1,159,920	
設備管理費	58,900,267	0	58,900,267		58,900,267	夜間延長利用時の空調管理費予算16,434含む
空調衛生設備保守	16,145,460		16,145,460		16,145,460	
消防設備保守	5,300,640		5,300,640		5,300,640	
電気設備保守	14,255,460		14,255,460		14,255,460	
害虫駆除清掃保守	902,880		902,880		902,880	
駐車場設備保全費	183,600		183,600		183,600	
その他保全費	22,112,227		22,112,227		22,112,227	
共益費			0		0	
公租公課	3,556,000	0	3,556,000	0	3,556,000	
事業所税			0		0	
消費税	3,472,000		3,472,000		3,472,000	
印紙税	82,000		82,000		82,000	
その他(預金金利の国税・地方)	2,000		2,000		2,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,870,000	0	1,870,000	0	1,870,000	
本部分	702,000		702,000		702,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	1,168,000		1,168,000		1,168,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費、利用者要望対応費等
<b>支出合計</b>	<b>257,216,290</b>	<b>0</b>	<b>257,216,290</b>	<b>0</b>	<b>257,216,290</b>	
差引	9,710	0	9,710	0	9,710	